

感染症の予防のための情報提供について

【腸管出血性大腸菌 O157】

	事例(1)	事例(2)	事例(3)
年齢・性別	16才・女性	18才・女性	20才・男性
職業	高校生	専門学校生	大学生
住所	鈴鹿市	津市	津市
発病年月日	令和 元年8月27日	令和 元年8月26日	令和 元年8月27日
診断年月日	令和 元年9月 1日	令和 元年9月 2日	令和 元年9月 2日
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・8月27日 腹痛がみられた。 ・8月28日 腹痛・倦怠感がみられ津市内病院を受診した。 ・8月30日 症状継続し水様便・血便がみられたため同病院を再受診し、入院となった。 ・9月1日 8月28日の検便から腸管出血性大腸菌と診断された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月26日 腹痛・下痢がみられた。 ・8月27日 血便がみられた。 ・8月28日 症状継続のため、津市内クリニックを受診し、同市内病院に紹介入院となった。 ・9月2日 8月28日の検便から腸管出血性大腸菌と診断された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月27日 腹痛・下痢がみられた。 ・8月29日 症状継続のため、津市内病院を受診した。 ・9月2日 8月29日の検便から腸管出血性大腸菌と診断された。
現患者症状	入院中ですが、回復傾向あり	入院中ですが、回復傾向あり	症状なし

【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施（津保健所）

【県内での腸管出血性大腸菌の発生状況】（四日市市を含む）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
患者	27	29	29	32	15
保菌者	10	15	13	19	15
計(感染者)	37	44	42	51	30

※2019年1月1日～2019年9月3日現在まで本件含む

2019年内 患者：O157（12人）O26（2人）O111（1人）

保菌者：O157（2人）O26（5人）O103（1人）O115（1人）
O8（4人）型不明（2人）

【自分でできる対策】

1 予防の3原則

① 加熱（菌を殺す）

この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。

肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。

ひき肉は、十分に加熱をしましょう。

焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。

井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。

② 迅速・冷却（菌を増やさない）

調理した食品はすぐに食べましょう。

冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）に入れましょう。

③ 清潔（菌をつけない）

手指や調理器具は十分に洗いましょう。

2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。

3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。